

組合のひろば

三重県青年4団体防災協定調印式を行いました。

三重県中小企業青年中央会

4月20日、三重県中小企業青年中央会(村田誠司会長)は、三重県商工会青年部連合会、三重県商工会議所青年部連合会、公益社団法人日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会とともに防災協定を締結しました。

この協定は、県内で地震や風水害などが発生した際、上記4団体が連携を構築し、生活用品や建設機械、車両運搬具など、応急支援に必要な物資等を調達、確保することを定めています。

村田会長は、「自分たちに出来ることは何かと以前から考えていた。当中央会は組合が仲間であり、他の団体は企業が仲間である。仲間が4団体となることで協力体制が更に強化され、多岐にわたる支援が出来る。」と述べました。今後は、4団体の各会長の地元で会議を重ね、地域の活性化にも尽力していきます。



村田誠司会長(左から2人目)

情報処理技術者試験に合格した県立高校生に図書カードを贈呈！

三重県コンピュータ業協同組合

2月29日、三重県コンピュータ業協同組合(小柴眞治理事長)は、IT(情報技術)分野の人材育成として、コンピュータ業界の未来を担う高校生のうち国家試験である情報処理技術者試験のスキルレベル2以上(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験)に合格し、平成28年3月に三重県立高等学校を卒業する生徒35名に、お祝いとして図書カードを贈りました。

今回は、当組合専務理事の竹内稔氏(東洋電機株式会社 取締役社長)が、11名の合格者を輩出した三重県立四日市商業高校を訪問して鳥井誠司校長に目録を、生徒ひとりひとりに図書カードを手渡しました。



竹内専務理事(前列右から3人目)鳥井校長(前列右から4人目)

伊勢の夏の風物詩 第100回高柳の夜店「百年夜店」を開催!!

伊勢高柳商店街振興組合

6月1日(水)から7月3日(日)までの1、6、3、8(いち・ろく・さん・ぱち)のつく日と毎週土曜日に、伊勢高柳商店街振興組合(橘 正志理事長)では、夜店を開催しています。

場所は、近鉄伊勢市駅より徒歩約10分。金魚すくいや綿菓子などの販売やゆかたコンテストなどの楽しい催しが開催され、恒例の大紀町の日、玉城町の日といった地域との連携による催し、伊勢シーパラダイスの出張アシカショーのほか、今年は、100年目を記念して、伊勢を映像で彩るプロジェクションマッピングの特別企画もあります。更に、商店街内のまるごと博物館では、伊勢の100年の歴史を写真で紹介、アーケード内では100人を超える人が伊勢音頭、高柳音頭を踊ってパレードします。橘理事長は、「これからもコミュニティの担い手として、専門店の良さを活かした夜店を続けていきたい。」と話します。

